



GK情報レポート

【2006年発行】

vol. 8

春号

発行者

権田金属工業株式会社 営業部

神奈川県相模原市宮下1-1-16

電話 042-700-0221

FAX 042-700-0660

E-mail: eigyo@gondametal.co.jp

<http://www.gondametal.co.jp>

Contents

1. 型打鍛造加工品のご案内
- 2-1. 「カドミンCNシリーズ」取り扱い店のご案内
- 2-2. 「カドミンCNシリーズ」品質管理について
3. GK沿革(第6回)…「第三代権田藤三郎」時代
4. GKギャラリー…2006年入社式より
5. 相場情報…2006年・第2四半期見通し

皆様でご回覧下さい

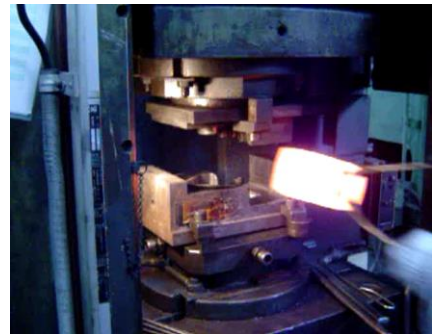
回 覧 印										
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※バックナンバー (Vol.1~7) をご用意しております。ご希望の方は当社営業部までお気軽にお問い合わせ下さい

権田金属工業株式会社



1. 型打鍛造加工品のご案内



特長① 多くの材質に対応します

- ・銅、黄銅、アルミ、チタン、ステンレス、鉄等および、それらの合金に対応します。
(RoHS 指令対策の材質もご相談に応じます)

特長② 一貫の製造が可能です

- ・設計・試作から量産まで、一貫して製造をいたします。
(銅、黄銅については素材も自社製造品を使用します)

特長③ コスト改善に寄与

- ・材料歩留り向上と加工時間の短縮が可能です。
(原料コストやエネルギーコスト高にも威力を発揮します)

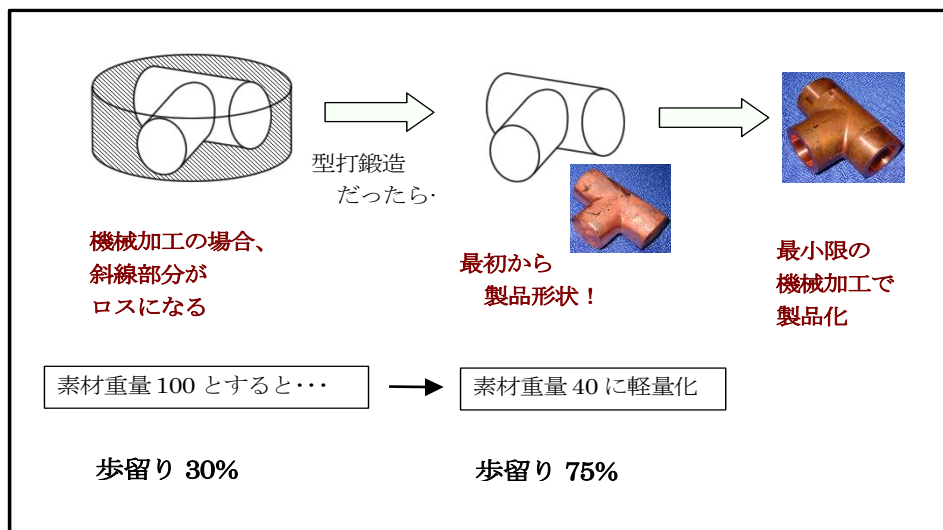
当社では各種型打鍛造品の製造が可能です。

まずは図面をFAX！！

⇒042-700-0660 マテ

ポイント① 型打鍛造による歩留り向上の考え方

< 無酸素銅型打鍛造品 ”チーズ” の例 >



- ポイント② 型打鍛造の加工精度 ⇒ 冷間鍛造なら寸法精度は±0.2mm
- ポイント③ 型打鍛造の大きさ ⇒ 1ヶあたり 10g～20kg 超まで
- ポイント④ 型打鍛造の生産性 ⇒ 機械加工に比べて大巾にアップ
- ポイント⑤ 型打鍛造の設計 ⇒ 製品図より3次元鍛造図を作成
- ポイント⑥ 型打鍛造の設備 ⇒ 45トン～1000トンの鍛造プレス機を保有
- ポイント⑦ 型打鍛造の後加工 ⇒ 打ち放し～機械加工、メッキ加工まで

お問い合わせ先→権田金属工業(株) 営業開発部 高安(タカヤス)まで

2-1. 「カドミノン CN シリーズ」 取り扱い店のご案内

◆カドミレス黄銅棒『カドミノンCNシリーズ』在庫切断販売開始！！◆

EU（欧州連合）では、いよいよ本年 2006 年 7 月 1 日より“RoHS 指令”（日本語訳『特定有害物質使用制限指令』）を発令します。

電気・電子機器製品に使用される素材について、カドミウム含有量を 0.01%（100ppm）以下に、鉛・水銀・六価クロムは 0.1%（1,000ppm）以下に抑制しなければ EU 圏内での販売を禁止するといった内容の指令です。

* 黄銅棒に関しては、鉛は当分の間 4%（40,000ppm）以下の抑制といった特例がついて
います。

黄銅棒業界では、カドミウム含有量 0.01%（100ppm）以下の対応を余儀なくされました。需要家様においては、家電業界は早々に昨年春季より低カドミウムの黄銅棒材料の採用、切替に動かれました。秋季以降は、自動車業界、光学業界、機械部品業界と様々な業界の需要家様も RoHS 指令への対応で低カドミウムの黄銅棒材料の採用、切替に動かれています。権田金属工業㈱では、昨年 6 月より RoHS 指令対応の『カドミノン CN シリーズ』の製造、販売を開始して需要家様のご要求に対応して参りました。

当社で製造、販売している黄銅棒は、業界ではいわゆる太物といわれるサイズです。

太物サイズは、需要家様のご要求の長さに切断された黄銅棒を必要量のみ、その都度購入される調達方法が主流となっています。RoHS 指令の発令期日が近づくにつれ、在庫切断販売に対するご要求が市場で多くなって参りました。

そこで当社は在庫切断販売を業務とされている問屋様と相談、ご協力を得て国内の主要エリアでの問屋様によるカドミノン太物サイズの在庫切断販売が出揃うことになりました。

関東地区	横浜伸銅株式会社	神奈川県横浜市神奈川区神奈川 2-10-15 TEL 045-461-0941
	株式会社 東新	東京都墨田区東向島 3-12-1 TEL 03-3614-0600
甲信地区	諏訪金属株式会社	長野県諏訪郡下諏訪町 10616-228 TEL 0266-28-3360
東海地区	水野金属商事株式会社	愛知県豊田市駒場町田戸 51-1 TEL 0565-57-5311
関西地区	橋本産業株式会社	大阪府大阪市生野区巽北 2-3-5 TEL 06-6751-6424

各社様共、カドミウム 75ppm 以下の『カドミノン C3604』を在庫切断販売をして頂いております。在庫切断販売のサイズ、価格、納期等につきましては、皆様方より各在庫切断販売問屋様の方へ直接お問合せ頂くようお願い申し上げます。

（記者 吉田）



2-2. 「カドミノン CN シリーズ」品質管理について

I、原材料成分の管理

黄銅棒のカドミウム含有量を RoHS 指令の規制値 100ppm 以下にするには、使用する原材料中（切粉、銅スクラップ、亜鉛他）のカドミウム量を制限する必要があります。購入した原材料の少量を溶かして分析用サンプルを作り、そのサンプルの表面を研磨して蛍光 X 線分析器にてカドミウム他微量成分を分析しています。

当社では実際に原材料を使用する前に成分分析値を把握し、その分析結果を基に RoHS 指令の要求する化学成分に合わない原材料は使用しておりません。

II、製造ラインでの管理

電気炉溶解後の分析結果で『カドミノン』の社内判定基準に合格した鑄造ビレットは、従来の一般鑄造ビレットと区別するために鑄造ビレットの端面に紫色の塗料を塗布します。そして各製造工程の作業終了毎に仕掛品の端面に紫色の塗料を塗布し、最終製品となるまで端面の紫色で識別管理を行っています。

III、製品のカドミウム量の確認

微量のカドミウムの分析には蛍光 X 線分析器を用いて、カドミウムの含有量を分析、確認をしています。


また抜き取りで製品から採取したサンプルを原子吸光分析器を用いてカドミウムの含有量を再度分析し、カドミウム含有量の再確認、再チェックを実施しています。

IV、当社のカドミウム分析方法

蛍光 X 線分析：X 線を試料に照射し、試料から発生した蛍光 X 線を検出・分光して含有する元素分析を行う方法。

原子吸光分析：液体試料を霧状にして炎中に導入、光源の光を炎中において、分光器を経由して各金属固有の光の吸収量を検知器で測定する方法。

(記者 吉田)



3. GK沿革(第6回)…「第三代権田藤三郎」時代

沿革(第6回) 権田金属工業(株)に改名

空襲と敗戦から立ち直ることを決意した権田藤三郎は、同時に平和産業への転換をも心に決め昭和22年1月に社名を権田金属工業株式会社に変更。復興第一期予算として500万円を計上しそれまで借地だった工場の土地三千三百坪を買収、機械、電気の設備も更新して同年9月に操業を再開しました。

権田藤三郎は一方で自らの後継者についても考えるところがあり、それまで二人の養子を迎えながら間もなく死去したため、権田清一から三番目の養子として次女信子を迎えました。同時に自らが信頼していた河合匡工学博士の紹介で昭和23年9月9日には長野市三輪田町1360番地の徳武数次郎家から五男忠志(川崎市の東芝鋼管工業(株)主任)を迎え、翌24年4月に河合博士の媒酌で信子と結婚、この夫婦を養子にしました。その忠志と信子の間に昭和25年2月6日、男児が誕生し源太郎と命名されましたが、権田家では四代目にして初めての子どもだったことから藤三郎は『藤善』の雅号で『初孫の産声に餅こがしけり』、『麗らかな恵みに藤の蔓芽吹きてやがて花薫るらむ』とその喜びを歌っています(昭和25年8月)。昭和24年2月には資本金を25万円増資して100万円にしましたが、四代目の結婚と五代目の誕生に権田藤三郎が行く末に安堵したのか積年の苦勞も忘れたかのように昭和25年9月11日、永眠しました(享年65歳)。そして苦樂を共にした妻モトも藤三郎亡きあと、しばらく代表取締役を務めましたが昭和28年1月27日に他界しました。

続く

(80周年記念誌「あゆみ」より)

4. GKキャリアー…2006年入社式より

2006年4月3日(月) 当社会議室にて新社員入社式が行われました。厳しい競争を勝ち抜いた精鋭5名を迎え、益々活気づくGK!!これからはプロのエンジニアとして、思う存分力を発揮し自らの夢をかたちにして欲しいと思います。

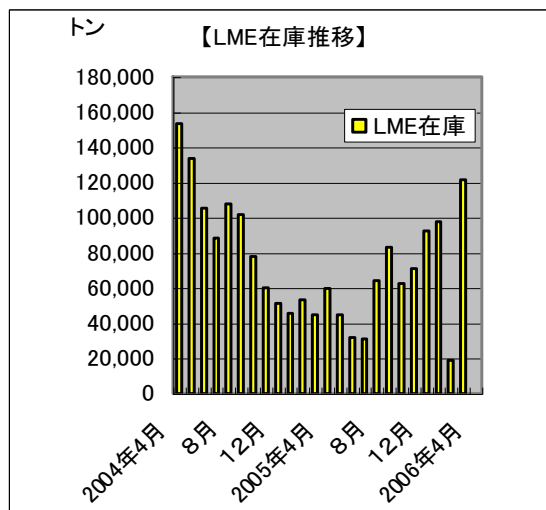
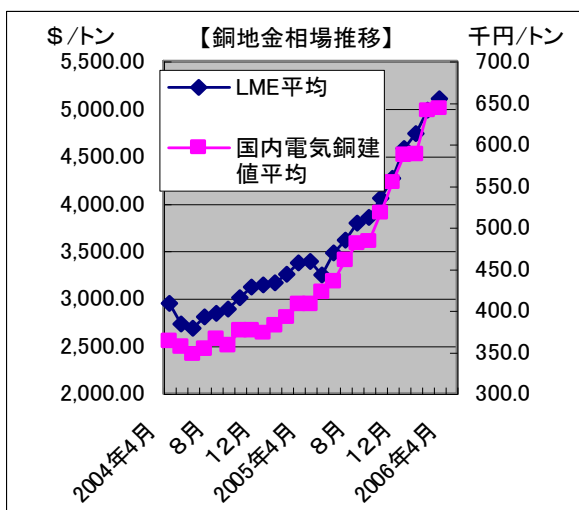


役員を囲んで記念撮影



緊張した面持ちで答辞を読み上げる新社員代表

5. 相場情報…2006年・第2四半期見通し



◆電気銅建値推移◆

- 1月・・・580円スタート (平均 588.4円)
- 2月・・・630円スタート (平均 640.5円)
- 3月・・・610円スタート (平均 642.2円)
- 4月・・・690円スタート。6日にはLME現物が5800ドル/MT超えとなった。


◆LME在庫状況及び需給状況◆

LME在庫は、1月～2月は10万トン前後で推移し3月に入り徐々に増加、3月15日には直近のピークとなる13万4725トンまで回復。その後は減少傾向に転じ4月には再び11万トン台となった。

3月初から中旬にかけてLME在庫が増加したのは、中国国家備蓄局による大量の先物売りの決済に伴い中国から銅地金の現物がLMEの倉庫に持ち込まれた為と言われており、最近の減少傾向は実需を反映しているという声もある。

供給については生産側は増産を計画しているものの、インドネシアの鉱山会社での事故や高騰し続ける相場を背景とした賃上げ要求のストライキなど生産の障害となる情報も入ってきている。

また各社が一斉に増産計画を進めているので生産に関する設備機器が不足しているとも言われている。例年欧米市場は6月に需要期を迎える事に加え中国を始めとしたアジア地域の需要を考慮すると銅需給状況は一層逼迫する可能性も考えられる。



◆現在の相場状況◆

投機資金の銅相場市場への流入が止まらず銅相場は連日上昇傾向にあり、当面は投機資金の流入が継続し相場の下支えとなると考えられる

しかしながら供給も生産体制に若干の不安は残るものの徐々に増産が進み、遠からず需給は均衡すると思われる。2006年末には大方の予測通り供給過剰となる可能性がある事から現在の相場を維持出来ない状態になる事も予測される。

◆為替の見通し◆

3月9日の日銀量的緩和政策解除後は、円高材料に乏しい状態が続いている。

またFBR（米国連邦準備理事会）の利上げ長期化観測等の円安材料もあり、米国経済状況次第では更に円安方向に進む可能性も否定出来ない。

◆相場の見通し◆

供給側に生産体制に関する不安があり、需要も底堅いと思われるが、供給体制が整い銅地金の供給過剰という局面が訪れると考えられる。そうなれば銅相場は下落の方向に進み、投機資金も銅相場から離れて行く事が予想される為、銅相場は更に下落する可能性もある。投機資金の流入がいつまで継続するのかが銅相場を見る上でのポイントとなる。

◆相場予測◆

短期予測（1M）： LME \$ 5,350～5,950 為替¥115～120 銅建値¥680～750

長期予測（3M）： LME \$ 5,000～6,100 為替¥112～122 銅建値¥610～770

（記者 日吉）

